

令和4年8月28日、紫川及び小倉城周りで第10回紫川アクアスロン大会が開催され、出場した。当日は天気良かったが、灼熱の大会というほどでもなかった。3年振りに開催されるこの大会、大会事務局も気合いが入っているのか、それとも勝山公園の使用許可が得られなかったのか不明だが、コースが例年と変わっていた。スイムスタートは勝山公園ではなく、紫江'S前だった。こちらをスタートにするのは私の記憶では2回目である。ランコースは川沿いと小倉城周りで勝山公園は使用しない。

さて、会場入りしてから、エントリーリストを眺めてみた。男性のエントリーは約140名。先日の門司港スイム&ランの100人よりも多いことに気づき、驚いた。この大会、いくら紫川がきれいになったとはいえ、紫川を泳ぐのは勇気が要る。なぜなら、泳げるほどきれいとは到底思えないからだ。きっとこの大会以外でこの川を泳ぐ人はいないだろう。特に前日に雨が降ったときは、川底がかくはんされるためか、かなり臭いがひどい。しかし、今年は満潮時のためか海の水が川に流れ込んで来ており、また、河口に近い方がスタートであるためか、それほどひどい状態ではなかった。

開会式、コース説明が終了後、いよいよスタート。スイムはフローティングかつウェーブスタート。55歳以上は最終第3ウェーブ。50歳ではなく、55歳というところが、この競技の年代層の高さが窺える。普段なら後ろの方からスタートするが、55歳以上なら先頭でもバトルの心配はないので、最前列からのスタート。スイムは750mと短いので、普段はほとんど使わない脚をつかって泳ぐ。やはり普段より速い。スイムラップは、15分24秒。なかなか良いペース。

ランはコースが複雑な周回コース。周回は3周。10キロのランラップは54分20秒だった。そんなに遅いペースではなかったが、50分を切れなかった。随分走力が落ちてきたことを実感した大会になった。

競技結果 一般男子の部 70位/120人

競技記録 総合記録 1時間9分44秒 (スイム15:24、ラン54:20)

